

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人 明輝会	代表者	川上 秀一	法人・事業所の特徴	住み慣れた地域で暮らし続けるため、家族と地域、医療・介護・福祉が一体となって支えることができるよう柔軟なサービス提供を行っている。 町内会へ加入しており、行事や会議への参加を行い、地域とのつながりを持つようにしている。地域交流喫茶店の開催を通じて利用者以外の方との交流も行っている。
事業所名	小規模多機能ホーム すばる	管理者	井手口 崇		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	人	1人	1人	人	13人	人	18人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 自己評価の確認	入退職に伴う、職員の入替わりも起きているので、全体への説明・新人職員への説明は継続して実施。 改善計画の進捗状況を職員会議で振り返る場を設ける。	入退職に伴い、自己評価の目的については必要時に説明を行い、新人職員へも個別に説明を実施した。 しかし、改善計画の進捗を職員会議で定期的に振り返ることはできなかった。	今後もすべての職員で取り組んでいってもらいたい。目的の説明は、重要と考える。	職員ミーティングの議題に「改善計画の進捗確認」を定例項目として設定し、年3回(6月・8月・10月)実施する。 振り返りの際は、各項目について「できたこと・できなかったこと・次の具体的な行動」を明確にし、議事録として残す。
B. 事業所のしつらえ・環境	目立つ場所(玄関や入口周辺)の整理整頓を行っているかチェックし、職員会議で振り返る場を設ける。	整理整頓についてのチェック体制は十分に機能せず、職員会議での振り返りも実施できなかった。	事業所を訪問した際には職員から挨拶があり、面会や会議を通して事業所の雰囲気を感じることができている。 今後も継続して整理整頓や環境整備に努めてほしい。	玄関および共有スペースの整理整頓について、毎月第1週をチェック週とし、担当者を決めて確認を行う。 改善が必要な箇所は共有し、翌月までに是正する。
C. 事業所と地域のかかわり	行事ごとに参加職員をローテーションし、より多くの職員が参加できるように調整。 参加後にミーティングで職員の意見を収集し、次回の参加に活かす。	地域行事への参加は職員をローテーションし、複数の職員が関わられるよう調整した。 しかし、参加後のミーティングで意見を共有する機会は十分に設けることができなかった。	町内会へ加入し、地域行事へ積極的に参加してもらっている。 利用者も行事へ参加しており、今後も継続して地域とのつながりを大切にしていきたい。	地域行事参加後、次回の職員ミーティングで5分間の報告時間を設ける。 報告をもとに、必要に応じて次回の参加方法を見直す。
D. 地域に出向いて本人の暮らしをささえる取り組み	参加できる行事が多くなるよう、地域の行事情報を定期的に収集し、職員と共有する。 近隣のお店や飲食店、温泉施設などへの外出を継続的にを行い、利用者が楽しめる活動を増やす。	地域の行事情報を収集し、職員間で共有を行った。 また、近隣店舗等への外出支援も継続して実施した。外出の回数は例年と同程度であった。	利用者都職員が町内会行事へ参加してくれている。 今後も地域に出向く機会を継続し、利用者の生活の広がりを支えてほしい。	運営推進会議では、地域行事や外出支援について「目的」「実施内容」を整理して報告する。 また、会議で出た意見については、次回会議で対応状況を報告する。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	地域行事や外出支援に関する報告に加え、具体的な成果や利用者の反応を交えた報告を行うことで、会議参加者がより興味を持てるようにする。	地域行事への参加や外出支援の状況について運営推進会議で報告を行った。 また、実施内容だけでなく、利用者の反応や様子についても具体的に伝えるよう努めた。	運営推進会議において、地域行事への参加状況や外出支援の様子について具体的な報告があり、事業所の取り組みが分かりやすい。 今後も継続して情報共有を行ってほしい。	運営推進会議では、地域行事や外出支援について「目的」「実施内容」「利用者の変化」の3点を整理して報告する。 また、会議で出た意見については、次回会議で対応状況を報告する。
F. 事業所の防災・災害対策	火災訓練を年に複数回実施し、訓練のたびに訓練内容のフィードバックを行い、改善点を把握・報告する。 専門機関と一緒に救急救命措置について勉強会を実施する。	火災訓練のフィードバックは実施できなかった。また、救急救命に関する勉強会も実施できていない。 一方で、防災士による勉強会を実施し、防災意識の向上に取り組んだ。	事業所の防災・災害対策については具体的な取り組みが分かりにくい。 近年は自然災害も多いため、訓練状況や備えについて今後共有してほしい。	BCPについて職員全員で学び、いざという時の行動に備える。 訓練実施後は、運営推進会議等で内容を報告する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月17日(13:30~14:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 瀬戸口、四元、宮本、中釜、森田、岡元、
焼山、道下、里永、村上、國生、吉留(純)、
吉留(文)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	10人	1人	1人	13人

前回の改善計画
● 必要な情報を勉強会で精査する。 ● 整理担当者を決め、利用者名の見出しを付ける。
前回の改善計画に対する取組み結果
● 情報を整理・精査する担当者、および必要な情報の共通ルールを決めていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	11	1	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	10	1	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	4	8	1	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのために配慮していますか?	2	6	5	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
● 利用開始前に、ケアマネを中心にサマリーや情報提供書に目を通し、生活歴や好きなこと、病気の情報を集め、ファイルにまとめて共有できている。 ● ミーティングや申し送り、職員ミーティングで毎日情報共有が行われており、特に慣れていない利用者に対しては職員それぞれが気にかけている。 ● 利用開始時に、本人やご家族の不安を聞き取り、優しい声かけや気遣いといった配慮ある関わりを通じて、信頼関係構築の最初のステップを踏めている。 ● サービス利用時に、本人や家族がまず必要としている支援(希望・意向)の共有や話し合う機会を持っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
● 情報共有が形式的になり、共有した情報が現場の具体的な支援に活かされていない。 ● 利用開始から慣れるまでの関わりへの理解意識、知識・経験が不足している職員がいる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
● 利用者情報を整理し、日々のケアに活かすルールを作る担当者を決め、担当者を中心に情報活用の仕組みを作る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月17日(13:30~14:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 瀬戸口、四元、宮本、中釜、森田、岡元、
焼山、道下、里永、村上、國生、吉留(純)、
吉留(文)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	2人	6人	13人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">● すばるの利用者と一緒になりたいことを3か月に1回、1人1枚以上紙に書く。その中でしたいことを発見していく。● 担当者を決めて、集計してチェックを行う。実施計画を提案していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">● 「利用者と一緒になりたいことを紙に書く」が実行されていない。● 担当者も決まっていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	6	6	0	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	5	8	0	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	2	11	0	13
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	5	7	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">● 担当職員が利用者と話をし、「～したい」ことの発見に努めている。● 「～したい」を叶えた成功事例をミーティング等で共有し、「利用者様の目標を応援する」意識が一部の職員で生まれている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">● ケアプランを作成することが目的化し、現場職員がプラン内容や目標を日々意識して実践に活かしていない。● 本人の目標やしたいことが把握できていない職員が多い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">● 「～したい」という願いや目標に対し、実行日と責任者を決めて実行する。● 実行後は、職員ミーティングで振り返り、より良い支援のあり方を考える。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月17日(13:30~14:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 瀬戸口、四元、宮本、中釜、森田、岡元、
焼山、道下、里永、村上、國生、吉留(純)、
吉留(文)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	3人	1人	13人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">● 必要な情報を勉強会で精査する。● 整理担当者を決め、利用者名の見出しを付ける
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">● 集めた情報の中から、利用者様のこだわりや能力を活かす支援(自立支援)に必要な情報を精査し、共通ルールとしてまとめる作業ができていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	3	7	2	13
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	10	1	0	13
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	5	6	0	13
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	10	0	0	13
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	8	3	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">● ケアマネを中心に「知るためのシート」で情報を集め、ファイルに綴じている。● 食事・入浴などの基本的な介助は、利用者の体調や状況に合わせた対応ができている。● 利用者の体調や気持ちの変化に気づいた際の共有、およびそれに対する対応ができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">● 「以前の暮らし方やこだわり」など、利用者の能力を活かす支援に必要な情報(10個以上)の把握が不足している。● 情報をファイルに綴じるだけで、日々の具体的なケアに活かせていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">● 利用者情報を整理し、日々のケアに活かすルールを作る担当者を決め、担当者を中心に情報活用の仕組みを作る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月17日(13:30~14:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 瀬戸口、四元、宮本、中签、森田、岡元、焼山、道下、里永、村上、國生、吉留(純)、吉留(文)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	3人	1人	13人

前回の改善計画

- 必要な情報を勉強会で精査する。
- 整理担当者を決め、利用者名の見出しを付ける

前回の改善計画に対する取組み結果

- 集めた情報の中から、利用者様のこだわりや能力を活かす支援(自立支援)に必要な情報を精査し、共通ルールとしてまとめる作業ができていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	6	7	0	13
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	8	3	1	13
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	9	3	0	13
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	0	10	2	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ケアマネを中心に「知るためのシート」で情報収集の最初のステップはできている。
- 家族や、地域との関係が切れないようにスタッフが支援している。
- 事業所にいない時間の過ごし方もスタッフ間で共有できている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 利用者様のこれまでの生活スタイルや人間関係、地域とのつながりの理解・把握が不十分である。
- 利用者を支えるご近所の方や民生委員、福祉団体といった地域資源の把握と活用ができていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- 職員ミーティングで、地域での活動(買い物など)の報告を行い、振り返りの機会を作る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月17日(13:30~14:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 瀬戸口、四元、宮本、中签、森田、岡元、焼山、道下、里永、村上、國生、吉留(純)、吉留(文)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	5人	3人	13人

前回の改善計画
● 地域の民生委員や福祉団体、医療機関などのリストを作成し、それぞれの資源がどのように支援に役立つか、職員全員で共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果
● 地域の民生委員や福祉団体、医療機関などのリスト作成ができていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	8	3	1	13
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	7	1	0	13
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	10	1	0	13
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	10	1	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
● 利用者様のその日・その時の状態やニーズに合わせて、「通い」「訪問」「宿泊」といった必要なサービスを柔軟に提供できている。	
● 利用者様の状態が変化した時には、ミーティング等で情報を共有し、対応方法をみんなで話し合っている。	
● 事業所だけでなく、訪問看護など外部のサービス機関と協力し支援できている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
● 地域資源の活用が進んでいない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
● 職員ミーティングで、地域での活動(買い物など)の報告を行い、振り返りの機会を作る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月17日(13:30~14:00)

6. 連携・協働

メンバー 瀬戸口、四元、宮本、中釜、森田、岡元、焼山、道下、里永、村上、國生、吉留(純)、吉留(文)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	4人	2人	13人

前回の改善計画	● 地域の行事にローテーションで参加し、職員が1回は参加できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	● 職員が町内会の行事など地域活動へ参加できている。 ● 全職員が参加するに至っていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	3	7	2	1	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3	5	3	2	13
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	5	4	2	2	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	7	4	1	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
●	各サービス機関との担当者会議や地域包括支援センターとの会議を実施できている(主に管理者中心)。 ● 運営推進会議などを通じて、地域の方にも事業所に来てもらう機会を作れている(例:「ありがとう515」イベント)。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
●	地域包括支援センターとの会議や地域の各種団体活動への参加が、管理者中心であり、職員全体に浸透していない。 ● 登録者以外の高齢者や子どもといった地域住民が事業所を訪れる機会が少ない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
●	地域の行事に参加した職員が、職員ミーティングで他の職員にも共有できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月17日(13:30~14:00)

7. 運営

メンバー 瀬戸口、四元、宮本、中釜、森田、岡元、
焼山、道下、里永、村上、國生、吉留(純)、
吉留(文)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	5人	4人	1人	13人

前回の改善計画
● 利用者や家族の声を聞くために、サービス向上委員会を中心に「満足度アンケート」を実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果
● サービス向上委員会を中心に「満足度アンケート」を実施している。 ● アンケートや会議で集めた意見や苦情を、具体的にどう運営に活かして、質を高められたかという検証やフィードバックが曖昧になっている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	8	3	0	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	9	1	0	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	7	4	0	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	4	6	2	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
● 運営推進会議などで地域の方からの意見をいただき、運営に反映できている。 ● ミーティングや勉強会で、職員がそれぞれ意見を発信し、事業所のあり方について意見できている。 ● 利用者やご家族からの意見や苦情をスタッフ間で共有し、反映できている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
● 地域と協働した積極的な取り組みができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
● サービス向上委員会が作成したアンケートや苦情で出た意見に対し、「①誰が担当? ②いつまでに? ③結果どうなった?」というリストを作成し、改善プロセスをわかりやすくする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月17日(13:30~14:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 瀬戸口、四元、宮本、中釜、森田、岡元、焼山、道下、里永、村上、國生、吉留(純)、吉留(文)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	3人	3人	13人

前回の改善計画

- 地域連絡会がいつ開催されているのか把握し、参加した時には内容を共有できるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 地域連絡会への参加ができていない、または開催情報について職員全体で把握・共有ができていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4	7	2	0	13
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	6	4	0	13
③ 地域連絡会に参加していますか	2	5	3	3	13
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	10	1	0	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 研修案内はグループラインで情報発信され、オンライン研修含め、誰でも参加できる体制が整っている。
- ヒヤリハットの提出、事故報告書を元にしたリスクマネジメントが委員会を中心にできている。
- 社内・社外研修、法定研修、スキルアップのための研修に職員が参加し、スキルアップに努めている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 研修で学んだ内容を、日々の業務に活かすアウトプットや知識定着の仕組みが不足している。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- 外部研修に参加した職員は、「学んだことの中で、明日からできること」にテーマを絞って、職員ミーティングで、他の職員に共有する時間を習慣化する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月17日(13:30~14:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 瀬戸口、四元、宮本、中釜、森田、岡元、焼山、道下、里永、村上、國生、吉留(純)、吉留(文)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	6人	6人	1人	0人	13人

前回の改善計画
● 引き続き、身体拘束防止委員会を中心に、アンケートの実施やオンライン研修の振り返りをしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
● 委員会を中心に、身体拘束・虐待防止のオンライン研修や勉強会を実施し、振り返りができている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	9	4	0	0	13
② 虐待は行われていない	4	3	3	3	13
③ プライバシーが守られている	6	7	0	0	13
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	4	8	1	0	13
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	5	8	0	0	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
● 身体拘束は基本的に行っていない。
● 個人情報・プライバシー管理は適切に行われており、着替えへの配慮など個人の尊厳を尊重している。
● 虐待ケースがあった際も、対策をすぐに決めて法人全体で取り組みを行っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
● 基本的なプライバシーは守られているが、他の利用者様がいる前で個人情報を大きな声で話している場面がある。
● 身体拘束・虐待は基本的にはないが、言葉での拘束や不適切ケアに繋がるようなケースがある。それらの早期発見、再発防止に向けた体制や風土が、結果としてうまく機能していなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
● 身体拘束・虐待防止委員会を中心に無意識に使っている不適切な言葉を具体的にリストアップし、「代替の優しい言い方(例: ~してみませんか?)」を学べるような研修を行う。